

学校運営協議会 議事録

校名	府立 東淀川 高等学校
校長名	森瀬 康之

開催日時	令和 5 年 7 月 4 日(火) 15 : 00 ~ 17 : 00
開催場所	大阪府立東淀川高等学校 会議室
出席者(委員)	松宮 新吾 委員長 濱名 猛志 委員 土井 由加利 委員
出席者(学校)	森瀬校長 山田事務長 福島教頭 田淵総務部長 尾崎教務部長 長谷川進路部長 渡辺保健部長 寺西情報部長 大見学年3学年主任 宮前2学年主任 楊多文化主任
傍聴者	なし
協議資料	令和 4 年度、同5年度 学校経営計画、 各分掌・学年からの目標設定シート
備考	

議題等(次第順)

- ・令和 5 年度学校経営計画及び学校評価について
- ・令和 5年度学校概況について
- ・学習指導要領の改訂等、国の動向について
- ・防災・学校安全の取組みについて
- ・その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

【学校から】

○令和4年度学校教育自己診断のふり返しより

- ・学校生活への満足度が回復、生徒指導に納得感なども増加している。
- ・授業のわかりやすさに課題がある(新学習指導要領実施一年めの影響も考えられる)

○令和5年度学校教育計画について

- ・新学習指導要領のもと学習支援の推進、デジタル採点の導入、教育相談体制の一層の定着等に取り組む。
- ・クラウド情報サービスの導入、業務時間外の留守電対応など教職員の仕事のスリム化を推進する。

○事務局(分掌・学年・多文化共生推進委員会・首席)から、今年度の目標を説明した。

【委員から】

○教職員の業務のスリム化に向けて、調査書の電子化などについて、府教育庁が率先して取り組むべき

○多様化するカリキュラムへ対応すること、個人情報取り扱いに注意することなどが重要である。

○さまざまな学校がある中で、東淀川高校は熱量をもって生徒に向き合ってくれていると感じた。

○新型コロナウイルス感染症の影響のもと、外国から日本に来る生徒が減っていた。法的な位置付けが変更になり、今年度、外国から日本に来る生徒は増加傾向にあると思われる。また、編入などの機会も増えると思われる(8月以降特に増加が見込まれる)。そのような生徒に対して、どのように対応・支援をするか、今までの東淀川高校の取組みを整理し、広く発信していただきたい。

○新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが変更になって、初めての体育祭を迎える。特に三年生は、感染症による制限があり、生徒たちはどうしていいかわからない中で二年間を過ごした。残り一年ない中で、しっかりと「弾け」て、たくさんの経験を積んでほしい。